



## 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月14日

福

上場会社名 昭和鉄工株式会社 上場取引所  
 コード番号 5953 URL <https://www.showa.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 福田 俊仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 鍋山 敏郎 (TEL) 092-933-6391  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月24日 配当支払開始予定日 2020年6月25日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	12,042	△2.4	320	△8.1	389	9.7	21	△91.9
2019年3月期	12,338	△1.0	349	△22.0	354	△28.0	259	△41.5
(注) 包括利益	2020年3月期		△317百万円(—%)		2019年3月期		36百万円(—%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	25.73	—	0.5	2.7	2.7
2019年3月期	318.86	—	5.4	2.3	2.8

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 △21百万円 2019年3月期 △51百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	14,574	4,422	30.3	5,366.00
2019年3月期	15,157	4,762	31.4	5,849.17

(参考) 自己資本 2020年3月期 4,422百万円 2019年3月期 4,762百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	549	△500	△116	2,833
2019年3月期	134	38	△322	2,901

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	40	15.7	0.9
2020年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	41	194.3	0.9
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当予想につきましては、現時点で未定です。

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階で合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
 新規 一社（社名）、除外 1社（社名） 昭和ネオス株式会社  
 昭和ネオス株式会社は、2019年4月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、  
 連結の範囲から除外しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	897,000株	2019年3月期	897,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期	72,766株	2019年3月期	82,751株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	820,170株	2019年3月期	814,287株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	11,818	17.5	291	68.3	384	48.8	403	105.3
2019年3月期	10,060	△2.2	173	△36.3	258	△6.7	196	△31.2
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期	492.17		—					
2019年3月期	241.44		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2020年3月期	14,223		4,453		31.3	5,403.64		
2019年3月期	13,934		4,424		31.8	5,433.76		

(参考) 自己資本 2020年3月期 4,453百万円 2019年3月期 4,424百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1.経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用情勢・所得環境改善の継続、民間設備投資の持ち直し等により、緩やかな回復基調から始まったものの、米中の貿易摩擦や英国のEU離脱問題などによる先行き不透明感が強まり、さらに新型コロナウイルスの感染拡大影響により、厳しい状況となりました。

このような情勢の中で当社グループは、中期経営計画「本業回帰で筋肉質な企業体質を実現する！」の最終年として、2019年度までに安定的に連結売上高120億円以上、連結売上高営業利益率4%以上を実現するため、重点課題である「事業の選択と集中」、「差別化新製品の開発」及び「固定費の最小化」に取り組んでまいりました。また、中期経営計画達成のため、効果的な事業戦略を検討する「Project Skye」のもと、4つのタスクフォースを中心に改革を継続推進してまいりました。

これらの取り組みを実施してまいりましたが、当期における当社グループの売上高は、120億4千2百万円（前連結会計年度比2.4%減）となりました。

損益面では、営業利益は3億2千万円（前連結会計年度比8.1%減）、経常利益は3億8千9百万円（前連結会計年度比9.7%増）となりましたが、主にたな卸資産評価損2億3千2百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は2千1百万円（前連結会計年度比91.9%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ・機器装置事業

機器装置事業につきましては、空調機器はエアハンドリングユニット、ファンコイルユニットなど、ほぼ全ての製品群が好調に推移し、売上が増加しました。しかしながら、熱源機器では特に業務用エコキュートが低調に推移し、売上が減少しました。環境機器も空気清浄機、電気ヒーターが低調に推移し、売上が減少しました。また、サーモデバイス機器の熱処理炉は失注及び一部売上の期ずれが生じ、減収となりました。

その結果、当事業の売上高は69億8千8百万円（前年同期比8.3%減）となりました。

#### ・素形材加工事業

素形材加工事業につきましては、鋳造品は精密鋳造品、特殊鋳造品共に堅調に推移し、増収となりました。景観製品についても標準高欄、特殊高欄共に好調に推移し、増収となりました。

その結果、当事業の売上高は21億5百万円（前年同期比11.1%増）となりました。

#### ・サービスエンジニアリング事業

サービスエンジニアリング事業につきましては、有料サービス及び保守契約とも好調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は29億4千8百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### 資産・負債・純資産の状況

当連結会計年度末の総資産は、たな卸資産(商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品)の減少等により、前連結会計年度末に比べ5億8千2百万円減少し、145億7千4百万円となりました。

負債については、長期借入金等の返済により、前連結会計年度末に比べ2億4千2百万円減少し、101億5千1百万円となりました。

純資産については、その他有価証券評価差額金等の減少により、前連結会計年度末に比べ3億3千9百万円減少し、44億2千2百万円となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

営業活動の結果獲得した資金は5億4千9百万円（前年同期は1億3千4百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が1億2千5百万円、たな卸資産評価損2億3千2百万円、たな卸資産の減少額3億1千9百万円による増加と売上債権の増加額2億8千5百万円及び法人税等の支払額1億3百万円による減少であります。

投資活動の結果支出した資金は5億円（前年同期は3千8百万円の獲得）となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出6億1千3百万円による減少であります。

財務活動の結果支出した資金は1億1千6百万円（前年同期は3億2千2百万円の支出）となりました。これは主に配当金の支払額4千万円及び長期借入金の返済7千5百万円による減少であります。

以上の結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より6千7百万円減少し、28億3千3百万円となりました。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率	19.7	25.8	31.4	31.4	30.3
時価ベースの自己資本比率	10.5	11.3	12.5	10.4	8.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	14.2	6.9	83.4	28.3	6.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ	5.2	10.6	1.0	3.1	13.9

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大及びその予防対策により、人々の生活、経済活動への影響が懸念されております。当社グループの属するそれぞれの事業分野においても影響が全く見通せないため、先行きは非常に不透明感を増しております。

このような環境の中、当社グループは新中期経営計画「全社横断の改革を実行し“140”へ向かおう!」を策定し、各重点課題に取り組んで参りますが、2021年3月期の業績予想につきましては、前述の状況により、業績に与える影響度及びその期間が見通せないため、業績予想の合理的算定をすることが困難なことから、未定といたします。今後、業績予想の開示が可能となった段階で速やかに開示いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実現性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,979	2,907
受取手形及び売掛金	3,681	3,626
電子記録債権	403	743
商品及び製品	210	184
仕掛品	1,397	894
原材料及び貯蔵品	328	306
その他	84	49
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	9,080	8,708
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	737	1,062
機械装置及び運搬具（純額）	255	324
土地	1,411	1,584
建設仮勘定	92	41
その他（純額）	110	88
有形固定資産合計	2,607	3,102
無形固定資産	100	97
投資その他の資産		
投資有価証券	2,915	2,262
その他	614	560
貸倒引当金	△160	△156
投資その他の資産合計	3,369	2,665
固定資産合計	6,076	5,865
資産合計	15,157	14,574

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,812	2,680
短期借入金	3,175	3,237
未払費用	486	501
未払法人税等	64	84
設備関係支払手形	93	102
その他	565	695
流動負債合計	7,196	7,300
固定負債		
長期借入金	637	500
退職給付に係る負債	2,022	2,009
繰延税金負債	190	-
その他	346	341
固定負債合計	3,197	2,850
負債合計	10,394	10,151
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,641	1,641
資本剰余金	1,225	1,226
利益剰余金	1,602	1,582
自己株式	△148	△130
株主資本合計	4,320	4,319
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	769	417
為替換算調整勘定	57	47
退職給付に係る調整累計額	△385	△362
その他の包括利益累計額合計	441	102
純資産合計	4,762	4,422
負債純資産合計	15,157	14,574

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	12,338	12,042
売上原価	9,468	9,189
売上総利益	2,870	2,853
販売費及び一般管理費	2,520	2,532
営業利益	349	320
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	84	98
受取手数料	31	17
受取ロイヤリティー	13	31
その他	15	26
営業外収益合計	146	176
営業外費用		
支払利息	46	42
持分法による投資損失	51	21
為替差損	4	17
その他	39	27
営業外費用合計	140	108
経常利益	354	389
特別利益		
事業譲渡益	50	—
投資有価証券売却益	—	80
特別利益合計	50	80
特別損失		
たな卸資産評価損	—	232
投資有価証券評価損	—	112
特別損失合計	—	344
税金等調整前当期純利益	404	125
法人税、住民税及び事業税	119	118
法人税等調整額	25	△14
法人税等合計	145	104
当期純利益	259	21
親会社株主に帰属する当期純利益	259	21



## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	259	21
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△239	△352
退職給付に係る調整額	44	22
持分法適用会社に対する持分相当額	△29	△9
その他の包括利益合計	△223	△338
包括利益	36	△317
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	36	△317
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,641	1,225	1,407	△148	4,126	1,009	86	△429	665	4,792
当期変動額										
剰余金の配当			△65		△65					△65
親会社株主に帰属する当期純利益			259		259					259
自己株式の取得				△0	△0					△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△239	△29	44	△223	△223
当期変動額合計	—	—	194	△0	194	△239	△29	44	△223	△29
当期末残高	1,641	1,225	1,602	△148	4,320	769	57	△385	441	4,762

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,641	1,225	1,602	△148	4,320	769	57	△385	441	4,762
当期変動額										
剰余金の配当			△40		△40					△40
親会社株主に帰属する当期純利益			21		21					21
自己株式の取得				△0	△0					△0
自己株式の処分		0		17	18					18
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△352	△9	22	△338	△338
当期変動額合計	—	0	△19	17	△0	△352	△9	22	△338	△339
当期末残高	1,641	1,226	1,582	△130	4,319	417	47	△362	102	4,422

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	404	125
減価償却費	174	196
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△5
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	12	9
受取利息及び受取配当金	△86	△100
支払利息	46	42
事業譲渡損益 (△は益)	△50	-
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	112
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△80
たな卸資産評価損	-	232
持分法による投資損益 (△は益)	51	21
売上債権の増減額 (△は増加)	△72	△285
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△449	319
仕入債務の増減額 (△は減少)	214	△131
未払消費税等の増減額 (△は減少)	6	152
その他の資産・負債の増減額	△32	△22
その他	11	1
小計	228	585
利息及び配当金の受取額	105	100
利息の支払額	△45	△41
法人税等の支払額	△153	△103
法人税等の還付額	0	8
営業活動によるキャッシュ・フロー	134	549
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△106	△77
定期預金の払戻による収入	162	81
有価証券の償還による収入	200	-
事業譲渡による収入	50	-
有形及び無形固定資産の取得による支出	△250	△613
投資有価証券の売却による収入	0	97
その他の支出	△28	△12
その他の収入	11	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	38	△500
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	500	100
長期借入金の返済による支出	△737	△175
配当金の支払額	△65	△40
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	-	18
その他	△19	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△322	△116
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△149	△67
現金及び現金同等物の期首残高	3,050	2,901
現金及び現金同等物の期末残高	2,901	2,833

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業部門を置き、各事業部門は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は事業部門を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「機器装置事業」、「素形材加工事業」及び「サービスエンジニアリング事業」の3つを報告セグメントとしております。

「機器装置事業」は、空調機器、熱源機器、環境機器、液晶パネル製造用熱処理炉等の製造販売をしております。「素形材加工事業」は、景観製品、各種鋳造品等の製造販売をしております。「サービスエンジニアリング事業」は、空調設備、給排水衛生設備工事等の請負工事のほか、メンテナンス、取替工事をしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は、予め定めた合理的な価額に基づいております。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	機器装置事業	素形材加工事業	サービスエンジニアリング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	7,623	1,894	2,820	12,338
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	27	74	104
計	7,625	1,922	2,894	12,443
セグメント利益	187	15	146	349
セグメント資産	5,959	2,739	1,163	9,861
その他の項目				
減価償却費	143	29	1	174
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	235	108	—	344

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	機器装置事業	素形材加工事業	サービスエンジニアリング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	6,988	2,105	2,948	12,042
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	22	—	24
計	6,990	2,127	2,948	12,066
セグメント利益	43	73	203	320
セグメント資産	5,543	3,085	754	9,383
その他の項目				
減価償却費	152	34	9	196
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	535	131	17	684

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	12,443	12,066
セグメント間取引消去	△104	△24
連結財務諸表の売上高	12,338	12,042

(単位:百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	349	320
その他の利益	—	—
連結財務諸表の営業利益	349	320

(単位:百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	9,861	9,383
全社資産(注)	5,295	5,190
その他の調整額	—	—
連結財務諸表の資産合計	15,157	14,574

(注) 全社資産は主に報告セグメントに帰属しない親会社の余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資金等であります。

(単位:百万円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	174	196	—	—	174	196
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	344	684	—	—	344	684

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	5,849.17円	5,366.00円
1株当たり当期純利益	318.86円	25.73円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
 2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	259	21
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	259	21
普通株式の期中平均株式数(株)	814,287	820,170

(重要な後発事象)

該当事項はありません。